



DNW-23029 の概要

課題名 : EGFR を標的とした肺がんに対する新規抗がん剤の探索

主任研究者 (Principal Investigator) :

島田 緑 (国立大学法人東海国立大学機構名古屋大学大学院医学系研究科)

ステージ : 検証ステージⅢ

【標的疾患】

肺癌

【創薬標的】

分子 X

【創薬コンセプト】

肺癌の予後不良と EGFR の分解制御機構に関わる分子 X を分解する薬剤

【モダリティの設定】

低分子化合物

【創薬コンセプトの妥当性を支持するエビデンス】

以下のことが PI により明らかにされている。

- 1) 分子 X が高発現している肺がん患者は予後が悪い。
- 2) 肺癌細胞株を用いた検討では、分子 X の発現を抑制することにより、EGFR が分解され、かつ細胞増殖も抑制される。

以下のことが創薬プースター支援により明らかにされている。

- 1) 肺癌細胞株移植の担癌マウスモデルにおいて、分子 X 誘導的ノックアウトにより顕著な腫瘍の退縮が認められた。

【支援ステージにおける目標】

分子 X を分解する化合物を見出し、*in vivo* 試験で化合物の抗癌効果が確認される。

【関連特許】

なし

テーマに関するお問い合わせは下記までお寄せください。

Principal investigator へのお問い合わせはご遠慮くださるようお願いいたします。

(問合せ先)

国立研究開発法人日本医療研究開発機構 創薬事業部

E-mail : id3desk@amed.go.jp